

濱松農林業的形態

▶ 浜松農林業のカタチ

實踐對環境與工作者友善的農業經營，應用最新科技，推動效率化與高附加價值的農作物生產。

環境や働く人に優しい農業経営の実践、最新のテクノロジーを応用し、効率化や付加価値の高い農作物の生産を進めています。

施設園藝

施設園芸

利用温室進行的濱松施設園藝歴史悠久，據說始自大正時代初期（1918年）的哈密瓜栽培。隨著技術開發的發展，也應用在其他農作物栽培，隨著技術開發的發展，也應用在其他農作物栽培，如青蔥、鴨兒芹等葉菜類與番茄的栽培以及大丁草與菊花等花卉栽培等。草與菊花等花卉栽培等。全年都有穩定的收穫，成為濱松的主要產業之一。

温室やビニールハウスを利用した浜松の施設園芸の歴史は古く、メロン栽培をきっかけに、大正時代初期（1918年）に始まったといわれています。技術開発の発展に伴い、葉ねぎやみつばなどの葉物やトマトの栽培、ガーベラや菊といった花き栽培など、他の農作物にも応用されました。1年を通じて安定した収穫が実現し、浜松市の主要産業の一つに数えられています。



Universal 農業

ユニバーサル農業

新型態的農業提供各式各樣的人們工作場所，並因此備受矚目。Universal 農業透過被稱之為「園藝福祉」、「園藝療法」的園藝提供治療、復健、創造生命意義等機會，並促進年長者與障礙者參與社會。以社福事業結合農業為契機，改善工作程序並改良農具，以方便所有人都能從事工作，提升工作效率與品質。

新しい農業は、多様な人たちの働き場所としても注目されています。ユニバーサル農業は、「園芸福祉」や「園芸療法」といわれる園芸を通じた治療やリハビリ、生きがいづくりの他、高齢者や障がいを持った人たちの社会参加を促します。福祉と農業の連携をきっかけに、誰もが働きやすいよう作業手順の改善や農具の改良が行われ、作業効率や品質の向上につながっています。

環保農人

エコファーマー

獲得政令市長認定、計畫並實踐對環境友善且具有高度持續性的農業生產方式之農家。結合「使用堆肥與紫雲英等綠肥植物培養土壤」、「使用菜籽油等有機肥料，減少化學肥料」、「利用捕食性昆蟲與防蟲網等，降低化學農藥使用量」這三項技術，生產新鮮安全的農作物。

県知事・政令市長の認定を受け、環境にやさしく持続性の高い農業生産方式を計画、実践している農家です。「堆肥や緑肥植物（レンゲなど）を使った土づくり」「局所的な施肥や、有機質肥料の使用なので化学肥料の使用を削減」「天敵昆虫や防虫ネットなどを利用し、化学農薬の使用を控える」この3つの技術を組合せ、新鮮で安心な農作物を生産しています。



責任ある森林管理のマーク

FSC® 認證

FSC 森林認證

濱松市為了適當保護地區財產的人工林，推動永續性的森林經營管理，於2010年3月取得「FSC 森林認證」。獲得認證的面積逐年擴大，2015年3月的現階段，市內天龍區以及北區引佐地區的森林中，有43,238公頃獲得FSC森林認證，在各市町村獲得認證的面積排行高居日本第一。

浜松市では地域の財産である人工林を適切に保全し、持続可能な森林経営・管理を推進するため、2010年3月に「FSC 森林認証」を取得しました。認証取得面積は年々拡大し、2015年3月現在、市内の天竜区及び北区引佐地域の森林のうち、43,238haがFSC森林認証林として認められ、市町村別取得面積では日本第1位を誇っています。